

クリニカルリーダーとレベル別研修

到達目標		看護管理コース		ファーストレベル(看護協会)	
				実習指導者講習会(看護協会)	
				看護教員養成講習会(看護協会)	
レベルⅣ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門看護師として模範となり専門性を発揮できる 2. 創造的な看護実践を展開できる 3. 部署における課題を明確にし、目標を示しながら管理行動がとれる 4. 部署における教育的役割がとれる 5. 管理および専門看護分野における研究開発を行い変革の推進者となる 	教育担当者研修 看護管理Ⅳ(院外看護管理研修受講) 看護研究(発表・誌上報告・シンポジスト)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 専門領域 専門ケアコース </div> 感染管理 皮膚・排泄ケア 救急看護 糖尿病看護 摂食・嚥下障害看護 がん看護 ・緩和ケア ・がん化学療法看護 ・がん性疼痛看護		
レベルⅢ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性期病院における看護過程を踏まえた創意工夫したケアが実践できる 2. 専門領域における看護実践の模範となる 3. あらゆる場面でのリーダーシップが発揮できる 4. 後輩および看護学生に対して指導ができる 5. 看護研究をととして専門看護を深めることができる 	臨地実習指導者研修 看護管理Ⅲ(実践的に取り組む) 看護研究(院外)に取り組む			
レベルⅡ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性期病院における看護過程を踏まえた個別的ケアが実践できる 2. 状況に応じたリーダーシップが発揮できる 3. 理論的知識と臨床情報の関係づけができる 4. 課題を研究的に取り組むことができる 	倫理に関する研修Ⅱ 安全対策研修:実践 看護管理Ⅱ(看護管理とは) 看護研究Ⅱ ・看護研究に取り組む 緩和ケアⅡ(実践・応用) 感染管理Ⅱ(実践・応用) 糖尿病看護Ⅱ(実践・応用) 皮膚・排泄ケアⅡ(実践・応用) 救急看護Ⅱ(実践・応用) リーダーシップ・フォローアップ研修 シスター研修・シスター講習会 実地指導者研修			
レベルⅠ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活のための基本的看護技術・態度を身につけ、ベッドサイドケアが安全・確実に実践できる 2. 担当患者のケアをととして看護の知識・技術を深められる 3. 看護チームメンバーの役割と責任を果たす 4. 院内研修に参加する 5. 看護研究発表会・学会に参加する 	新人看護職員入職時研修 新人看護職員研修 ・リフレッシュ研修 ・フォローアップ研修 ・ローテーション研修 ・感染対策研修(基礎編) 感染フォローアップ研修 標準・経路別・職業感染予防策 ・安全対策研修Ⅰ:基礎 インシデント共有・多重課題 ・新人技術研修 酸素療法・吸引 食事介助・経管栄養 BLS・気管内挿管介助 採血・静脈注射認定 ・救急看護(フィジカルアセスメント) ・糖尿病看護 ・褥瘡研修(ポジショニング) ・看護記録(看護過程・看護必要度) ・事例研究【事例発表】			

※研修内容は新人看護職員研修・教育委員会をご覧ください。

関西医科大学総合医療センター 看護部 教育委員会